

世界をオレンジ色に 女性に対する暴力撤廃キャンペーン賛同イベント開催

「インスタ映え」するオリジナルメッセージカードを SNS で世界に発信

文京学院大学は、昨年に引き続き UN Women 日本事務所が実施する女性に対する暴力撤廃に向けたキャンペーンに賛同し、12月4日(月)より8日(金)まで、外国語学部の甲斐田万智子教授の授業「国際文化協力」などを履修した学生有志によるオリジナルイベントを開催します。

開催の背景

本学外国語学部では、世界の女性や少女の人権問題をテーマとした授業を開講しています。そうした科目を担当する甲斐田万智子教授の授業で学んでいる学生有志が、授業で学んだことを実際の社会でも行動を起こそうと、UN Women (ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関)が展開する女性に対する暴力撤廃キャンペーンに賛同し、昨年に引き続き本学オリジナルイベントを開催します。

UN Women では毎年11月25日(女性に対する暴力撤廃の国際デー)から12月10日(人権デー)までの16日間、暴力のない明るい未来の象徴として、学校や建造物・史跡のランドマークといった街中をオレンジ色に染めるキャンペーンを展開しています。文京区でも11月25日を「文京オレンジデー」とし、区内大学、警察署、NPO 団体が参加しました。

同区内にキャンパスを有する本学も、学生・教職員などのメンバーを対象にオレンジ色の紙で女性に対する暴力に反対するメッセージを作成し、SNS を活用して世界に向けた情報発信を行います。今年はプラスアルファの取り組みとして「インスタ映え」を意識した掲示や「ハッシュタグ」を工夫し SNS 上でのメッセージの拡散を行うとともに、有志メンバーによる参加呼びかけのチラシを配布。女性に対する暴力撤廃のために活動している世界中の方々との連帯の意思を表し、昨年以上の参加拡大を目指します。



本学が掲げるメッセージカード(昨年実施時のもの)

開催概要

日時：2017年12月4日(月)から8日(金)まで (オレンジ色メッセージカードへ書き込み・写真撮影)
場所：文京学院大学 本郷キャンパス (東京都文京区向丘 1-19-1)
主催：文京学院大学 外国語学部 甲斐田教授の授業履修生有志 8名
参加目標人数：本大学学生・教職員など約100名

< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。